

ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)
に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

第3話 「インスタグラマー」

【登場人物】

リカ：インスタグラマー気取っているけど、根はまじめな女子。

マネージャー：常識人。たまに口が悪い。

リカ「カンパニー」

SE グラスがぶつかる音

マネージャー「リカさん今日もお疲れ様でした」

リカ「お疲れ。いやー今日も一日疲れたわー」

マネージャー「本日は」

リカ「ううん、ぼんやりしてて話が出来なくてごめん」

マネージャー「あ、はい」

リカ「ううん」

マネージャー「僕の仕事を覚えてくれてるの？」

リカ「へー、そうですね」

マネージャー「はい」

リカ「なごでー」

マネージャー「さ、さ、さ、精神的に疲れてしまっつて」

リカ「私でよければ相談にのるよっ」

マネージャー「…さ、さ、さ、かっ」

リカ「もちろんっよ」

マネージャー「リカさんいつも、写真ばかり撮ってるじゃないですかっ」

リカ「うん。インスタグラマーだからね」

マネージャー「あれが長髪じゃないっ」

リカ「えっっ」

マネージャー「あれが本当の本当の長髪っ」

リカ「え、それだけっ」

マネージャー「えっ」

リカ「それは流石にマネージャーの責任がないわよ。私は長いと思わないわ」

リカ「仮にも私はインスタグラマー。写真を撮ってインスタに投稿するのが仕事。
本業に時間をかけるのは当たり前でしょ?」

マネージャー「いや、違うんですよ」

リカ「何が違うのよ?」

マネージャー「リカさん。目の前の料理を見てください」

リカ「え?」

マネージャー「全部冷めています!」

リカ「いや…」

マネージャー「今日のこの食事も、料理が来てから食べ始めるまで1時間かかっ
てるじゃないですか!スープ飲んでみてくださいいよ!水道水み
たいな温度になってますよ!」

リカ「いやだってインスタに…」

マネージャー「インスタに料理を載せるだけで時間かかりすぎですよ!」

リカ「分かった分かった!これから写真撮るの短くするから!」

マネージャー 「まだあります」

リカ 「まだあるの?」

マネージャー 「プライベートの旅行に僕を連れていくのをやめてください」

リカ 「いやそれは…」

マネージャー 「なんですか?」

僕が彼氏との旅行に嫉妬してると思ってるんですか!

そんなことは一ミリも思っていないんですよ!」

リカ 「まだ何も言っていないわよ…」

マネージャー 「彼氏との旅行中もずっと僕が撮ってたじゃないですか!」

リカ 「だって私の彼、写真撮るの下手なんだもん…」

マネージャー 「あんだけ筋肉あったらできるでしょ!普通!っていうかなんでリカ

さんの歴代の彼氏全員スキンフェード短髪筋肉男なんです

か!?!マッチングアプリでスキンフェードと筋肉で検索絞り込んで

るんですけど…」

マネージャー「どんな仕事止めたんですか？」

リカ「地元秋田の…地方番組です…」

マネージャー「なんで止めちゃうんですかー？」

リカ「いや、地元の友達にはインスタグラマーってこと言っちゃった…」

マネージャー「なんで言っちゃったんですか？」

リカ「…恥ずかしい…」

マネージャー「じゃあ地元ではなんて言っちゃったんですか？」

リカ「えーっと…公務員です」

マネージャー「真反対じゃないですかー！」

リカ「インスタグラマーと公務員って対の関係なの？」

マネージャー「…どうですかー！」

リカ「だって秋田だとインスタグラマーって言葉が通じないから…」

マネージャー 「公務員だと通じるなーじゃなーいなんですよー」

リカ 「あ、はーい。そうですか？」

マネージャー 「とりあえずはお説教は、このへんまでいいです。料理をいただきますよー」

リカ 「そ、そうですね。せっかく頼んだんだから」

SE カトラリーの音

マネージャー 「そういえば今日のファッションイベントしたんですか？」

初めてみましたけど」

リカ 「これかわいいでしょ。あのブランドの新作なのよー」

マネージャー 「へえーまあかお金借りて買ってないですよーね」

リカ 「…」

マネージャー 「借りてるんですけどね」

リカ 「は、はーい。

でも好きな服をお金借りて買ったし、今は無いですよーってかー」

マネージャー 「悪い」ではないです！ただインスタグラマーとしてのスタンスから見たらおかしいですよー！」

リカ 「うっ…」

マネージャー 「何で借りたんですか？」

リカ 「いや、銀行のカードローン…」

マネージャー 「そんなインスタグラマーいないですよー！」

SE 電話の着信音

マネージャー 「あ、ちよつと電話です。すみません」

リカ 「もう、どうすればいいの？」

マネージャー 「リカさん！大変ですー！」

リカ 「なにどうしたの？」

マネージャー 「リカさんの番組レギュラーが決まりました！」

リカ 「本当に…？」

マネージャー 「はいー！一緒に頑張りますしゅー！」

リカ 「肩はどゥー？」

マネージャー 「秋田の」コミュニティFMです

リカ 「…」

マネージャー 「どうかしました？」

リカ 「いや、でもローカー…」

マネージャー 「リカさん。」「っっっっお仕事をしっかりこなすことが大事だと思
いますしゅー！」

リカ 「わ、わ、分かった。やるわ」

マネージャー 「ありが」コミュニティFMですー！」

リカ 「でも」コミュニティFMでインスタジオグラマーって通じるかしゅー？」

マネージャー 「放送禁止用語ではないので大丈夫ですー！」



リカ 「ごめん」じゃあごめん」

マネージャー 「だったら」の際、職業名を変えてみて」

リカ 「何」はあ」

マネージャー 「ローカルトレンド」もごめん」

リカ 「絶対やだ」